



平成 23 年度「原子力安全」調査専門委員会  
第 3 回技術分析分科会

平成 23 年 4 月 24 日（日）第 3 回技術分析分科を開催し、澤田主査より、日本学術会議との連携の動き、「原子力安全」調査専門委員会の他の分科会（放射線影響、クリーンアップ）の動向、国内・国際的な情報発信の予定等の説明があった。5 月下旬を想定していた原子力学会主催のシンポジウムは、IAEA 調査団来日（5 月下旬）より前、かつ一般向けであれば土日で開催する方向で調整することとなった。「秋の大会」では、当委員会だけでなく、多くの部会連絡会からこの事故に関する企画セッションが提案されると思われるので、混乱を避け、また一般の人に一通り理解して貰うためには大会の前日に大会場でのシンポジウムのものを企画する方向で調整することとした。当面の安全対策のロジックを今週中を目処に検討し、並行して事故の教訓を整理し、公表することを目標にメール審議することとした。

以上